◆ 当商品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

DIGITAL PIANO

PW950

取扱説明書

KAWAI

●同梱品

本体/スタンド一式/電源コード/取扱説明書（本書）/スタンド組立図/保証書/ご愛用者カード/アフターサービスと音楽教室のご案内（全て各1部）

《ごあいさつ》

このたびは、KAWAI 電子ピアノをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

本機では、ピアノの音色はもちろんオルガンなど全 13種類の音色で演奏を楽しむことができます。また、自分の演奏を録音する機能，音に残響効果を与えるリバーブ，伝統的ないくつかの調律法による音律セッティングなど多種多彩な機能を装備しています。さらに、電子楽器統一規格であるMIDI機能も装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブル等、バラエティーに富んだ演奏にも対応できるようになっています。

本機の性能をフルに発揮させていただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

目次

1.各部の名称と働き 4
2.演奏してみましょう 6
1) 基本操作 6
2) ペダルを使って演奏 10
3) デュアル演奏 12
4) スプリット演奏 13
5) デモ曲の演奏 15
6) メトロノーム 17
3.録音・再生 19
1) 録音 19
2) 再生 21
3) パートのデータの消去 22
4.設定モード 24
1) トランスポーズ 25
2) ブリリアンス 26
3) ボイシング 26
4) タッチカーブ 27
■MIDIについて 28
■MIDIの使用例 29
■本機 MIDI 機能 29
5) MIDI 送信・受信チャンネル 30
6) プログラム(音色)No. 送信 31
7) 音律の設定 32
8) 音律のキー 33
9) チューニング 33
10) ペダル・エフェクト 34
11) ローカル・コントロール 34
12) プログラム(音色)ナンバー送信のオン / オフ 35
13) マルチ・ティンバー・モード 36
14) チャンネルミュート 38
15) メモリー・バックアップ 39
16) 表示言語 40
■ 主な仕様 41
MIDI IMPLEMENTATION CHART 42
MIDI Exclusive Format 43

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています
製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注意 感電の危険あり 本体をあけるな 注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。	このマークは、感電の危険があることを警告しています。 このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

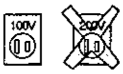
絵表示の例

- △記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。
  左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
- ○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。
  左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
- ●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。
  左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止



●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない

●感電の原因になります。

◆本機を落とさない

落とさない

●運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない
●イスで遊んだり、踏み台にしない
●イスには2人以上で座らない
●イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
●イス組立時、ネジをしっかり締める

使用しない

●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止

●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

分解禁止

●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

プラグ部分を持つ

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間ご使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

⚠ 注意

◆本機を次のような所では使用しない

●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

使用禁止

●故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる

●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る

●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない

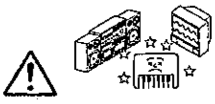
●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

もたれない

●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す


●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする

●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン／シンナー禁止

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

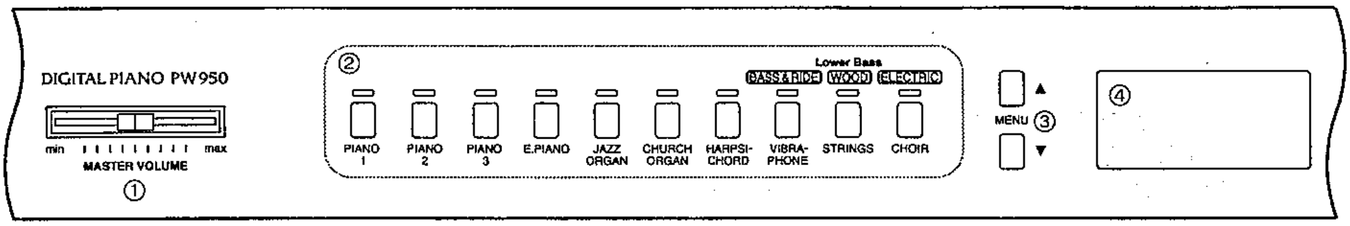
■修理について

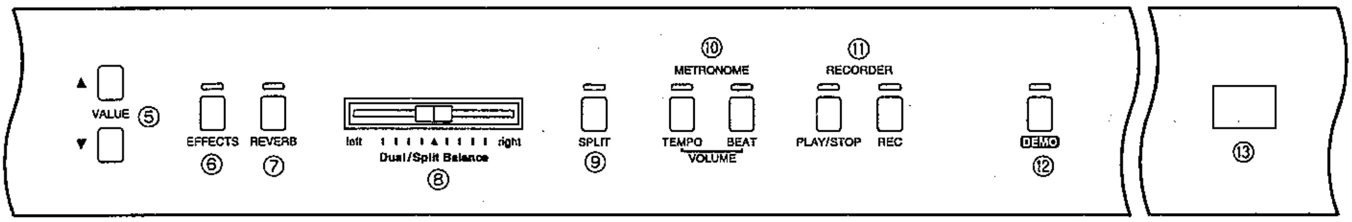
●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

1.各部の名称と働き

電子ピアノに付いている、レバーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◆前面





①**MASTER VOLUME（ボリューム）**［P.6］
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。max側にいくほど音量が大きくなり、min側にいくほど音量が小さくなります。

②**音色セレクトボタン/音色名表示**［P.7］
音色を選択するボタンです。演奏したい曲目などに合わせてボタンを押してください。押されたボタンの赤いランプが点灯します。

③**MENU（メニュー）**［P.24］
設定モードでメニューの選択をします。

④**16×2 LCD**
メニューや値などを表示します。

⑤**VALUE（バリュー）**
LCD上で値を設定します。

⑥**EFFECTS（エフェクト）**［P.9］
コーラス効果、ディレイ効果、トレモロ効果、ロータリー効果の選択をします。

⑦**REVERB（リバーブ）**［P.8］
音にリバーブ効果（残響効果）を与えることで、美しい響きが得られます。

⑧**Dual/Split Balance**
（デュアル/スプリットバランス）［P.12/14］
デュアルスプリットで演奏する場合の2つの音色の音量バランスを設定します。

⑨**SPLIT（スプリット）**［P.13］
鍵盤を左右に分けて異なる音色で演奏するときに使用します。

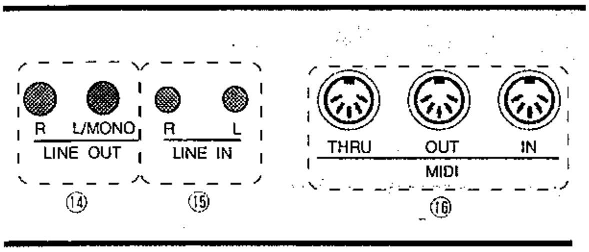
⑩**METRONOME［TEMPO/BEAT/**VOLUME]
（メトロノーム［テンポ/ビート/ボリューム］）［P.17］
メトロノーム音を鳴らしたり、テンポ/拍子/音量を設定します。

⑪**RECORDER（レコーダー）**［P.19］
PLAY/STOP,RECの2つのボタンを使って、あなたの演奏を録音、再生することができます。

⑫**DEMO（デモ）**［P.15］
内蔵されているデモ曲を演奏させるときに使用します。

⑬**POWER（電源スイッチ）**
電源をON/OFFするスイッチです。ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。

◆後面



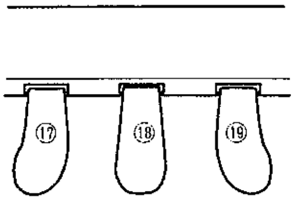
⑭LINE OUT（ライン出力端子）<標準ジャック>
本機の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、テープデッキに録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。R（アール）は右側、L / MONO（エル/モノ）は左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOにのみプラグを接続したときに出力されます。

⑮LINE IN（ライン入力端子）<ピンジャック>
他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節してください。R（アール）は右側、L（エル）は左側の入力を示しています。

⑯MIDI（ミディ）
MIDI規格に対応している楽器を接続する端子です。

◆本機のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。
発振音が発生し、故障の原因になります。

◆足元

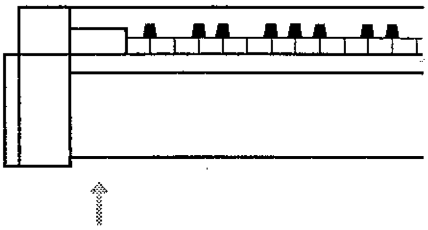


⑰ソフトペダル
音色がやわらかくなり音量も小さくなります。

⑱ソステヌートペダル
鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むとその音にだけサスティンがかかります。

⑲ダンパーペダル
鍵盤から手を離しても音が余韻をもって消えていくサスティンがかかります。
踏む深さによって余韻の長さを調節できます。

◆本体左下側



⑳ヘッドホン端子（2個）
別売りのヘッドホン（SH-5,SH-2）を接続する端子です。ヘッドホンを2つまで接続できます。

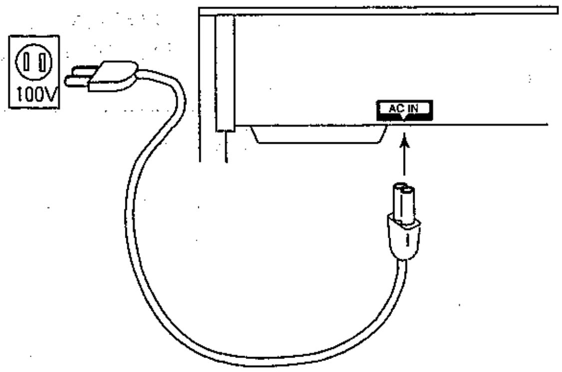
2.演奏してみましょう

ここでは、電源を入れ音を出すまでの
基本的な手順を説明します。

1) 基本操作

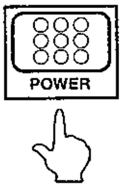
◇操作1

電源コードを下図のように、AC100Vのコンセントと本体に差し込みます。

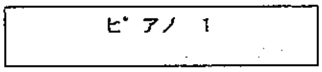


◇操作2

POWER（電源スイッチ）ﾎﾞﾀﾝを押して電源を ON にします。



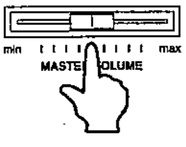
POWERﾎﾞﾀﾝ を押すと音色セレクトﾎﾞﾀﾝ のPIANO 1と表示されているボタンが点灯します。



■ *電源をONにした時は、自動的にPIANO1の音色が選択されます。*

◇操作3

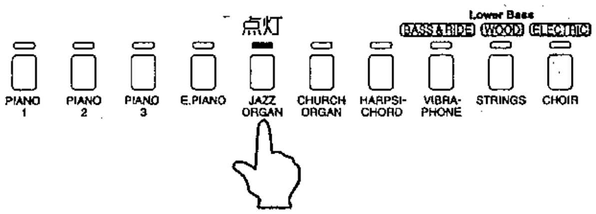
VOLUME ﾚﾊﾞ-を中央付近にセットします。



■音色の選択

◇*操作4*

音色セレクトﾎﾞﾀﾝの中から好きな音色を選んで押します。



押された音色のランプが点灯し選択されます。

ジャズオルガンの音で演奏したい場合は、上図のようにJAZZ ORGANﾎﾞﾀﾝを押し点灯させます。

■ 内蔵音色

◆ **PIANO 1〔ピアノ1〕**
KAWAIのグランドピアノの音です。

◆ **PIANO 2〔ピアノ2〕**
ブライトピアノの音です。明るめなピアノの音です。

◆ **PIANO 3〔ピアノ3〕**
メロウピアノの音です。ソフトなピアノの音です。

◆ **E.PIANO〔エレクトリックピアノ〕**
エレクトリックピアノの音です。

◆ **JAZZ ORGAN〔ジャズオルガン〕**
オルガンの音です。ジャズ演奏に適しています。

◆ **CHURCH ORGAN〔チャーチオルガン〕**
パイプオルガンの音で、教会などで賛美歌演奏に使われています。

◆ **HARPSICHORD〔ハープシコード〕**
バロック音楽などで使われている別名チェンバロの音です。

◆ **VIBRAPHONE〔ビブラホン〕**
ビブラホンは、大型の鉄琴です。下に取付けてある共鳴管により美しい共鳴が得られます。

◆ **STRINGS〔ストリングス〕**
弦楽合奏音です。バイオリン、ビオラ、チェロやコントラバスを同時に発音した音です。

◆ **CHOIR〔クワイヤー〕**
人の合唱の声です。

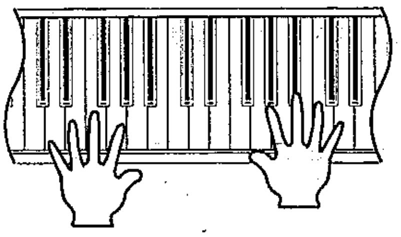
◆ **BASS & RIDE〔ベース&ライド〕**
ウッドベースとライドシンバルを同時に鳴らした音です。

◆ **WOOD〔ウッド〕**
ウッドベースの音です。

◆ **ELECTRIC〔エレクトリック〕**
エレクトリックベースの音です。

◇操作 5

鍵盤を弾いてみましょう。



選んだ音色が発音します。
音量を調節したい時は、VOLUMEﾚﾊﾞｰでお好みの音量に設定してください。

■音にREVERB（リバーブ）効果を加える

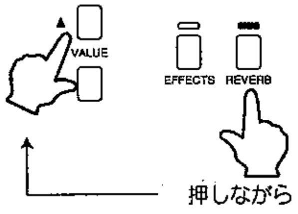
■ リバーブとは？

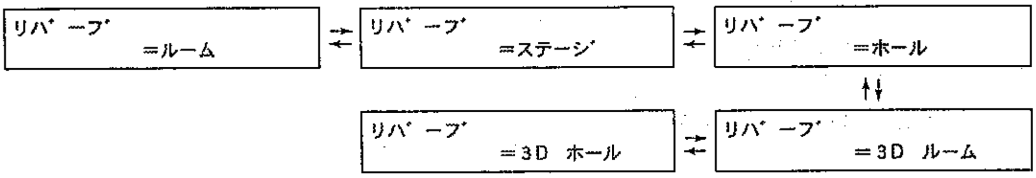
リバーブ効果を加えると、音に残響効果が加わり深みのある美しい響きが得られます。
本機では、以下の3種類のリバーブを用意しています。

1. ルーム	**室内で演奏している時にかかる残響効果が得られます。**
2. ステージ	**ステージで演奏している時にかかる残響効果が得られます。**
3. ホール	**ホールで演奏している時にかかる残響効果が得られます。**
4. 3D ルーム	***室内で演奏している時の残響に3次元の広がりを加えた効果が得られます。***
5. 3D ホール	***ホールで演奏している時の残響に3次元の広がりを加えた効果が得られます。***

◇操作 6

REVERBﾎﾞﾀﾝを押しながらVALUEﾎﾞﾀﾝでリバーブの種類を選びます。





REVERBﾎﾞﾀﾝのランプが点灯します。

REVERBﾎﾞﾀﾝを押している間、ディスプレイに今選ばれているリバーブの種類が表示されます。

REVERB ﾎﾞﾀﾝ を押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度 REVERB ﾎﾞﾀﾝ を押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

REVERB ﾎﾞﾀﾝ を離すとディスプレイの画面は音色表示になります。

■音にコーラス / ディレイ / トレモロ / ロータリー効果を加える

■ コーラス： 元々の音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加わえます。

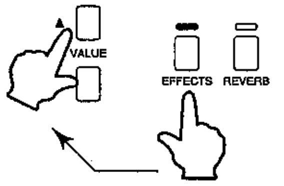
■ ディレイ： 元の音に山びこ（エコー）のような反響音を加える効果です。
本機では 3 種類のディレイ効果を用意しています。

■ トレモロ： 音に "ゆらぎ" を与える効果です。ビブラフォーンの音にかけると効果的です。

■ ロータリー： ロータリー（回転式）スピーカーを使って得られる効果です。
ソフトペダルを押すことによって回転の速さを切り換えることができます。

◇操作 7

EFFECTS ﾎﾞﾀﾝ を押しながら VALUE ﾎﾞﾀﾝ で効果の種類を選びます。



ｴﾌｪｸﾄﾀｲﾌﾟ =ｺｰﾗｽ	⇄	ｴﾌｪｸﾄﾀｲﾌﾟ =ﾃﾞｨﾚｲ 1	⇄	ｴﾌｪｸﾄﾀｲﾌﾟ =ﾃﾞｨﾚｲ 2
				⇅
ｴﾌｪｸﾄﾀｲﾌﾟ =ﾛｰﾀﾘｰ	⇄	ｴﾌｪｸﾄﾀｲﾌﾟ =ﾄﾚﾓﾛ	⇄	ｴﾌｪｸﾄﾀｲﾌﾟ =ﾃﾞｨﾚｲ 3

パネル上の EFFECTS ﾎﾞﾀﾝ ランプが点灯します。
EFFECTS ﾎﾞﾀﾝ を押している間、ディスプレイに今選ばれている効果の種類が表示されます。

EFFECTS ﾎﾞﾀﾝ を押して消灯させると、音色の効果は解除されます。
再度 EFFECTS ﾎﾞﾀﾝ を押して点灯させると、前回選択していた種類の効果が加えられます。

ロータリーを選ぶとソフトペダルでスピードを切り替えることができます。（P.11 参照）

2）ペダルを使って演奏

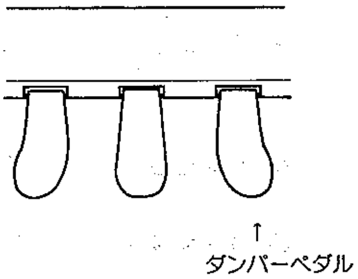
本機には、ダンパー、ソステヌート、ソフトと言う 3 種類のペダルを装備してます。
ここでは、それぞれのペダルの効果について説明します。

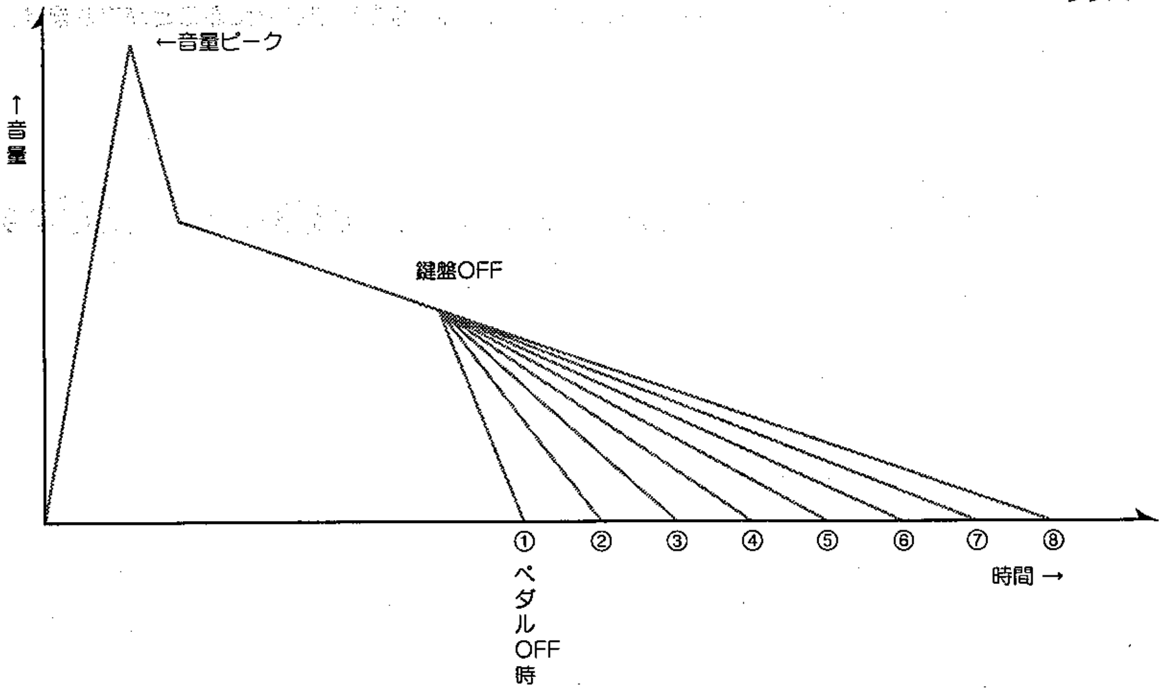
■ ダンパーペダル

ダンパーペダルは、足元の3つのペダルの内一番右についているものです。
これを踏むことにより、音に余韻を与えます。

ピアノの音は、鍵盤を押すとハンマーが弦をたたき、音が発音しますが、
その音はある一定時間で減衰していき消えてしまいます。
ダンパーペダルを踏むことによりその減衰時間を引き伸ばします。

本機では、踏み具合により下記の 8 種類の減衰の調節ができます。



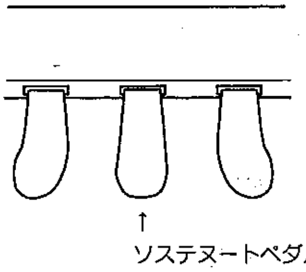


上図は、鍵盤を押した後の時間と音量の関係を表わしたグラフです。
ダンパーペダルの踏み方により、離鍵時の減衰が、8 通りになります。

深く踏むごとに、①→ ②→・・・・→ ⑧のような減衰の仕方をしていきます。
最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。

■ ソステヌートペダル

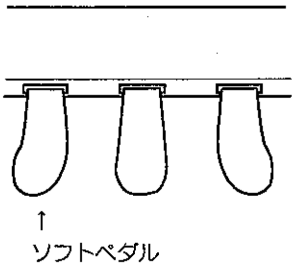
ソステヌートペダルは、足元の3つのペダルの内中央についています。



これを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。
従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

■ ソフトペダル

ソフトペダルは、足元の3つのペダルの内左側についています。



これを踏むと、音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

EFFECTS ボタンを押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード（Slow/Fast）を切り替えます。

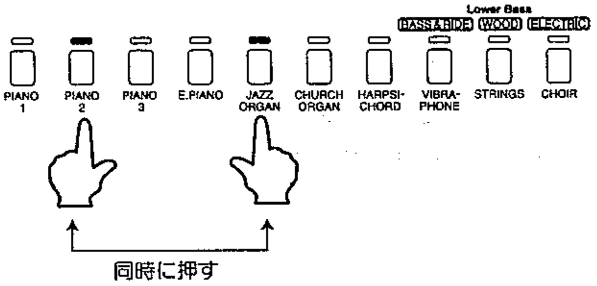
3) デュアル演奏

■ デュアル演奏

デュアル演奏は 2つの音色を重ね合わせます。
2つの音色が同時に発音され音に独特の厚みを与えることができます。

◇操作 1

2つの音色ボタンを同時に押します。



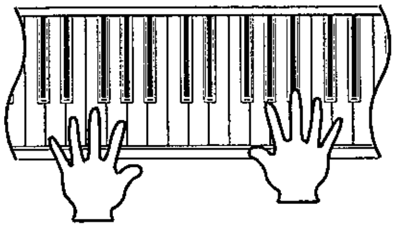
重ね合わせる2つの音色ボタンを両方押すと2つの音色ランプが点灯しディスプレイに2つの音色が表示されます。

ﾋﾟｱﾉ 2 ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ

ピアノ 2とジャズオルガンの音を重ね合る場合は、図の様な操作になります。

◇操作 2

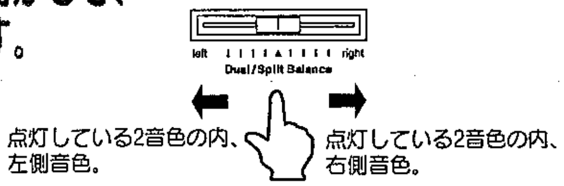
鍵盤を弾いてみましょう。



鍵盤を弾けば選択した 2つの音色が重なって発音されます。

◇操作 3

Dual/Split Balance ｽﾗｲﾀﾞｰ を動かして、2つの音色のバランスを設定します。



◇操作 4

デュアル演奏の解除は、音色セレクト ﾎﾞﾀﾝ をどれか1つ押します。

その押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

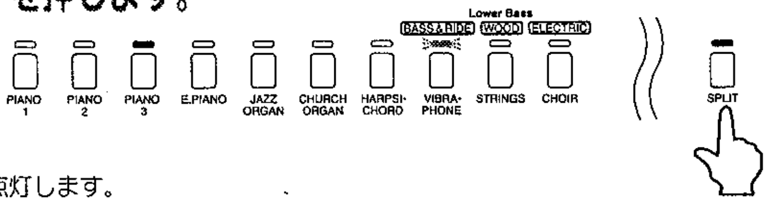
4) スプリット演奏

■ スプリット演奏

鍵盤をスプリットポイントを境に左右 2つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定しアンサンブル演奏をすることができます。

◇操作 1

SPLIT ﾎﾞﾀﾝ を押します。



SPLITﾎﾞﾀﾝ のランプが点灯します。
音色セレクトボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。
点灯している音色ボタンは、SPLITﾎﾞﾀﾝ を押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。
点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されているBASS & RIDEのランプが自動的に選ばれます。
ディスプレイに選ばれている2音色が表示されます。

ﾋﾟｱﾉ 3 ／ﾍﾞｰｽ&ﾗｲﾄﾞ ｼﾝﾊﾞﾙ

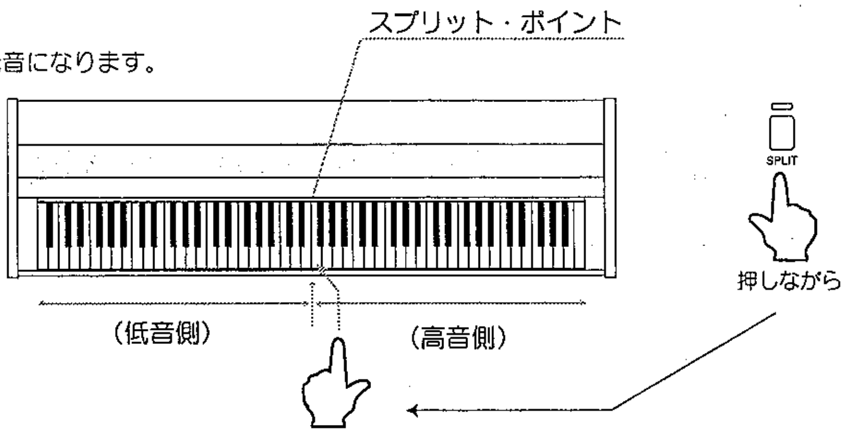
ディスプレイ左下には、スプリット状態であることを示す（ ／ ）マークが表示されます。

ポイントは、はじめ自動的に中央のＣ（ド）に設定されます。

◇操作 2

スプリットポイントを変更したい場合は、SPLIT ﾎﾞﾀﾝ を押しながら鍵盤を押します。

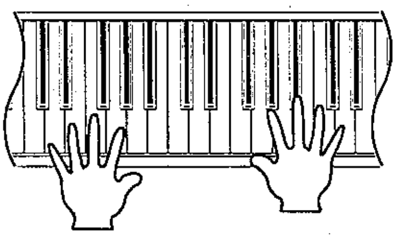
押した鍵盤が、高音側の最低音になります。



◇操作 3

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば、スプリットポイントを境に別々の音色で発音されます。
右手でコードとメロディー、左手でベースラインを弾いてアンサンブル演奏を楽しむことができます。



◇*操作 4*

高音側の音色変更は、音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点灯します。

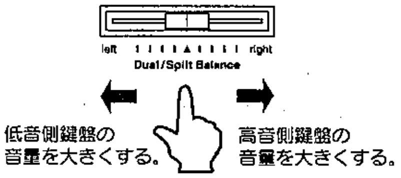
◇*操作 5*

低音側の音色変更は、SPLIT ﾎﾞﾀﾝ を押しながら音色ボタンを押します。

押した音色ボタンのランプが点滅します。
低音側にビブラフォーン、ストリングス、クワイヤーの音色を選択する時は、SPLIT ﾎﾞﾀﾝ を押しながらビブラフォーン、ストリングス、クワイヤーの音色ボタンを 2 回連続して押します。

◇*操作 6*

Dual/Split Balance ｽﾗｲﾀﾞｰ を動かして、高音側と低音側のバランスを設定します。



◇*操作 7*

スプリット演奏を止める時は、再度 SPLIT ﾎﾞﾀﾝ を押します。

SPLIT ﾎﾞﾀﾝ の上のランプが消灯します。

■ スプリット演奏時でのダンパー設定

スプリット演奏時にダンパーペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にダンパー効果のON/OFFを設定できます。
（高音側鍵盤のダンパー効果は常に ON となります。）

◇*操作 1*

SPLIT ﾎﾞﾀﾝ を押しながらダンパーペダルを踏みます。

上記操作を行う毎に交互に設定が切り替わります。

```
 ﾋﾟｱﾉ 1                    ﾋﾟｱﾉ 1
*  ﾛｱｰﾍﾟﾀﾞﾙ ON  *   ⇄   *  ﾛｱｰﾍﾟﾀﾞﾙ OFF*
```

ON に設定した際、低音側鍵盤の音にもダンパー効果が加わります。
OFF に設定した際、低音側鍵盤の音にはダンパー効果を加えず、高音側鍵盤の音にのみダンパー効果が加わります。工場出荷時には、OFF に設定されています。

メモリーバックアップ（P39 参照）にて設定保存できます。

5) デモ曲の演奏

本機には、音源のすばらしさを生かした3種類のデモ曲を内蔵しています。

曲No.

1	幻想即興曲/ショパン	16	おめでとうクリスマス	31	PIANO1（乙女の祈り）
2	エリーゼのために/ベートーヴェン	17	喜びの歌	32	PIANO2
3	貴婦人の乗馬/ブルクミュラー	18	ショパン前奏曲作品28の7	33	PIANO3（華麗なる大円舞曲）
4	アラベスク第1番/ドビュッシー	19	ブラームスの子守歌	34	E.PIANO
5	花の歌/ランゲ	20	カルメン組曲より（闘牛士の歌）	35	JAZZ ORGAN
6	別れの曲/ショパン	21	スケーターズ　ワルツ	36	CHURCH ORGAN
7	トルコ行進曲/モーツァルト	22	いとしのクレメンタイン	37	HARPSICHORD
8	10人のインディアン	23	故郷の人々	38	VIBRAPHONE
9	キラキラ星	24	わらの中の七面鳥	39	STRINGS
10	鐘がなるよ	25	聖者の行進	40	CHOIR
11	山の音楽家	26	ヤンキードゥードル	41	BASS&RIDE
12	まきびとひつじを	27	アニーローリー	42	WOOD
13	きよしこの夜	28	ダニーボーイ	43	ELECTRIC
14	あら野のはてに	29	蛍の光		
15	ジングルベル	30	グリーンスリーブス		

●No.1~7：クラッシック名曲集 / No.8~30：お子様になじみのデモ曲集
/ No.31~43：音色紹介デモ曲（No.31 ,33以外は、オリジナル曲です。）

◇ *操作1*

DEMO ﾎﾞﾀﾝを押します。

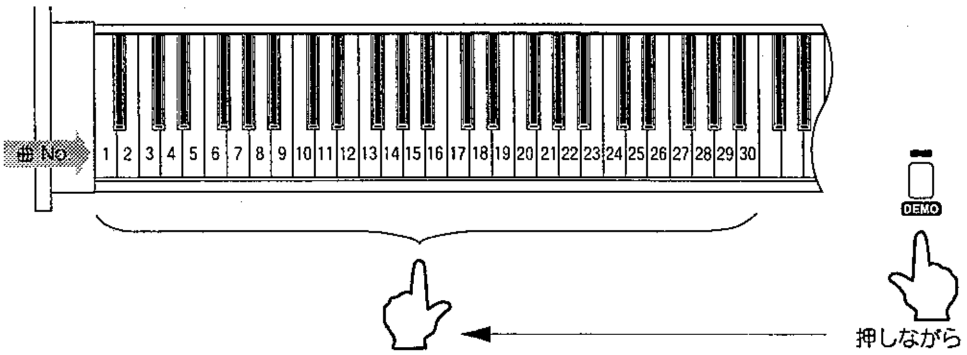
DEMOﾎﾞﾀﾝのランプが点灯し、1曲から43曲までを連続再生します。再度DEMOﾎﾞﾀﾝを押すまで繰り返します。
ディスプレイには、曲番号と曲名が表示されます。

```
ﾃﾞﾓｿﾝｸﾞ      01
 ｹﾞﾝｿｳｿｯｷｮｳｷｮｸ
```

◇ *操作2*

操作1でデモ曲演奏中に、DEMO ﾎﾞﾀﾝを押しながら鍵盤を押して、No1～30のデモ曲を演奏できます。

(DEMOﾎﾞﾀﾝを押した後、VALUE ﾎﾞﾀﾝで曲No.を選ぶこともできます。)

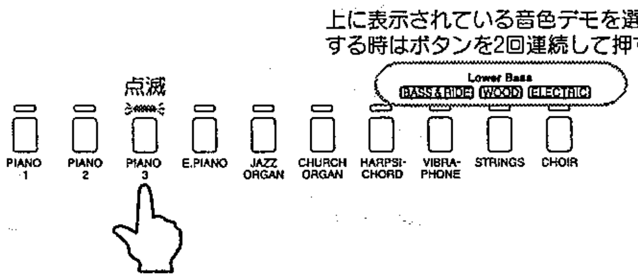


No1～30のデモ曲には、左端から30個の白鍵が割り当てられています。

◇操作3

操作1でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して音色紹介デモ曲（No.31～43）を選択できます。
No.41～43の曲を聴く場合は、ボタンを2回連続して押してください。

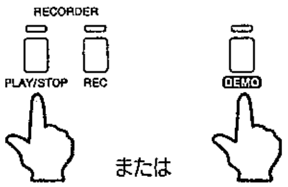
(DEMOﾎﾞﾀﾝを押した後、VALUE ﾎﾞﾀﾝ で曲No. を選ぶこともできます。)



音色紹介デモ曲再生中は、その音色ボタンのランプが点滅します。

◇操作4

デモ曲の演奏を止めるには、もう一度DEMOﾎﾞﾀﾝか PLAY/STOP ﾎﾞﾀﾝ を押します。



DEMOﾎﾞﾀﾝのランプが消灯します。

■ *DEMOﾎﾞﾀﾝを押した後何も操作しなければ、1曲から43曲までを連続再生します。再度DEMOボタンを押すまで繰り返します。*

■ *デモ曲演奏中は、エフェクトなどの変更はできません。*

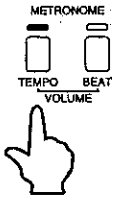
6）メトロノーム

メトロノームを使ってテンポを正しく練習しましょう。

メトロノームの発音とテンポ設定。

◇操作 1

TEMPO ﾎﾞﾀﾝ を押します。

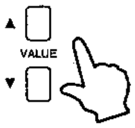


TEMPO ﾎﾞﾀﾝ が点灯し、メトロノームが発音します。
ディスプレイにそのテンポの値が表示されます。

メトロノーム	テンポ
●○○○	♩＝120

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ を押してテンポの早さを設定できます。



ディスプレイにテンポが表示されている間、テンポの値を ♩＝30～300の範囲で設定できます。（6/8 拍子のときは、♪＝60～600）

◇操作 3

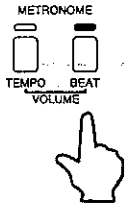
再度 TEMPO ﾎﾞﾀﾝ を押すとストップします。

TEMPO ﾎﾞﾀﾝのランプは、消灯します。

メトロノームの拍子設定。

◇操作 1

BEAT ﾎﾞﾀﾝ を押します。

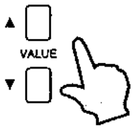


BEAT ﾎﾞﾀﾝ が点灯し、ディスプレイにその拍子が表示されメトロノームが発音します。

メトロノーム	ビート
●○○○	＝4／4

◇*操作 2*

VALUE ボタン を押して拍子を選択します。



1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。

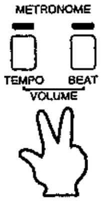
◇*操作 3*

再度 BEAT ボタン を押すと BEAT ボタンのランプは消灯し、メトロノームが止まります。

メトロノームの音量設定。

◇*操作 1*

METRONOME ボタン （TEMPO と BEAT）を押します。

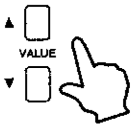


METRONOME（TEMPO+BEAT）ボタン が点灯し、
メトロノームが発音します。
ディスプレイにその音量の値が表示されます。

メトロノーム	ボ リューム
●○○○	＝ １０

◇*操作 2*

VALUE ボタン を押して音量を設定します。



1 ～ 10 の範囲で設定できます。

◇*操作 3*

再度 METRONOME ボタン （TEMPO と BEAT）を押すと同時にランプが消え、メトロノームが止まります。

3.録音・再生

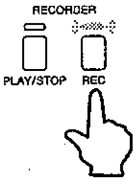
1) 録音

本機では、自分の演奏を5曲（5ソング）まで、録音し再生することができます。
それぞれの曲（ソング）は、2つのパートから構成されており、2回の演奏を重ね合わせて再生できます。

録音するソングとパートの選択

◇操作1

REC ﾎﾞﾀﾝ を押します。

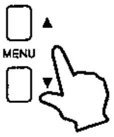


ディスプレイにソングとパートが表示されます。
REC ﾎﾞﾀﾝが点滅します。

ﾚｺｰﾄﾞ ｿﾝｸﾞ 1 ﾊﾟｰﾄ=1

◇操作2

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押して目的のソングを設定します。



ﾚｺｰﾄﾞ ｿﾝｸﾞ 1 ﾊﾟｰﾄ=1

↑↓ MENUﾎﾞﾀﾝ

ﾚｺｰﾄﾞ ｿﾝｸﾞ 2 ﾊﾟｰﾄ=1

↑↓

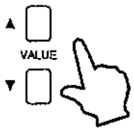
⋮

↑↓

ﾚｺｰﾄﾞ ｿﾝｸﾞ 5 ﾊﾟｰﾄ=1

◇操作 3

VALUE ボタン を押して目的のパートを設定します。



レコード
ソング　1　パート=1

↑↓ VALUEボタン

レコード
ソング　1　パート=2

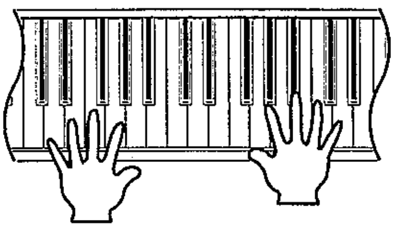
既に録音されているパートには、2行目右に＊マークが付いています。

レコード
ソング　1　パート=1＊

このパートに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。

◇ 操作 4

鍵盤を弾いて録音をスタートします。



鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。
このとき、REC ボタンと PLAY/STOP ボタン のランプが点灯します。

PLAY/STOP ボタン を押しても録音を開始できます。
録音中の音色変更も記憶されます。

◇ 操作 5

演奏が終わったらPLAY/STOP ボタン を押して録音を終了します。

PLAY/STOP ボタン と REC ボタン が消灯し録音が停止します。
ディスプレイでは、録音停止を表示した後、自動的に再生待機状態の表示になります。

レコード ストップ
ソング　1　パート=1

→

セレクト　　ソング／パート
ソング　1　パート=1 & 2

■ *レコーダーの総記憶容量は、約 5,000 音です。録音中に記憶容量が一杯になったときは、録音が中止されます。　中止される直前までの演奏は録音されます。*

■ *レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。*

■ *パート1の演奏を再生しないでパート2に録音したいときは、REC ボタン を押す前にPLAY/STOP ボタン を押しVALUE ボタン を押してプレイパートを2に設定します。(P.21 参照)*

■ *録音中のパネル操作に関して…*

- *音色変更は記憶します。*
- *デュアルスプリットモードの移行は記憶します。*
- *エフェクト設定の変更は記憶せず、現在音色にアサインされているものがそのまま使われます。*
- *テンポ変更は記憶しません。*
- *デュアルスプリットバランスの変更は録音されません。録音直前のバランスで録音されます。*
- *タッチカーブ、トランスポーズボタンのON/OFF 変更は、録音されません。*
  再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音程で再生されます。

2) 再生

録音した曲を再生します。
前ページ操作５の後、その録音した演奏を再生する場合は、PLAY/STOPﾎﾞﾀﾝを押せば再生されます。
通常の演奏状態の時（ディスプレイが音色表示の時）再生を行う場合は、以下の通りです。

◇ 操作1

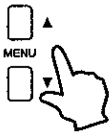
PLAY/STOP ﾎﾞﾀﾝ を押します。

現在選択されているソングとパートが表示され、再生待機状態となります。

セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　1　パ゛ート＝1＆2

◇操作2

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押して目的のソングを設定します。



↑↓

セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　1　パ゛ート＝1＆2

↑↓　MENUﾎﾞﾀﾝ

セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　2　パ゛ート＝1＆2

↑↓

⋮

↑↓

セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　5　パ゛ート＝1＆2

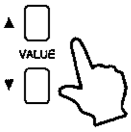
↑↓

既に録音されているパートには、右下隅に＊マークが付いています。

セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　1　パ゛ート＝1＆2＊

◇操作3

VALUE ﾎﾞﾀﾝ を押して目的のパートを設定します。



セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　1　パ゛ート＝1＆2

↑↓　VALUEﾎﾞﾀﾝ

セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　1　パ゛ート＝1

↑↓

セレクト　　ソング゛／パ゛ート
ソング゛　1　パ゛ート＝2

Part1 & 2	:	パート１と２を再生
Part1	:	パート１のみ再生
Part2	:	パート２のみ再生

◇操作 4

再度、PLAY/STOP ﾎﾞﾀﾝ を押し再生を開始します。

◇ 操作 5

演奏を停止するには、PLAY/STOP ﾎﾞﾀﾝ 押します。

再生待機状態となります。
ここで次の曲とパートを選択することができます。

◇ 操作 6

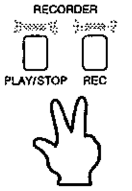
音色 ﾎﾞﾀﾝ を押すと通常の状態に戻ります

3) パートのデータの消去

ここでは、録音に失敗したり、いらなくなった曲をパートづつ消去します。

◇ 操作 1

PLAY/STOP ﾎﾞﾀﾝ とREC ﾎﾞﾀﾝ を同時に押します。



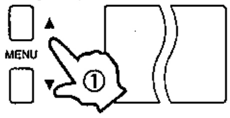
同時に押す

```
ﾃﾞﾘｰﾄ (Recﾎﾞﾀﾝ)
ｿﾝｸﾞ  1  ﾊﾟｰﾄ=1&2*
```

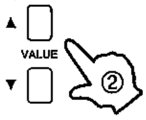
PLAY/STOP ﾎﾞﾀﾝ とREC ﾎﾞﾀﾝ のランプが点滅します。

◇ 操作 2

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押してソングをVALUE ﾎﾞﾀﾝ を押してパートを選びます。



ソングを選択



パートを選択

◇ *操作3*

RECﾎﾞﾀﾝを押したら1回確認のメッセージを表示します。PLAY/STOPﾎﾞﾀﾝを押したら消去中止となります。

```
OK?      (Rec ボ゛タン)
ソング゛  1  パ゛ート=1&2*
```

◇ *操作4*

再度RECﾎﾞﾀﾝを押したら消去します。

```
デ゛リート コンプ゛リート
ソング゛  1  パ゛ート=1&2
```

消去中止する場合は、PLAY/STOPﾎﾞﾀﾝを押します。

```
デ゛リート キャンセル           デ゛リート (Recボ゛タン)
ソング゛  1  パ゛ート=1&2*  →  ソング゛  1  パ゛ート=1&2*
```

さらにPLAY/STOPﾎﾞﾀﾝを押すと、ディスプレイは再生時の表示となります。

```
セレクト     ソング゛/パ゛ート
ソング゛  1  パ゛ート=1&2
```

■ *複数のソング/パートを消去するときは、繰り返し操作を行ってください。*

■ *録音されているすべてのソングを消去したい場合は、PLAY/STOPﾎﾞﾀﾝとRECﾎﾞﾀﾝを押したまま、電源を入れてください。*

4.設定モード

本機には、いろいろなピアノの演奏を楽しむために、いろいろな状態を設定することができます。
この設定を行う場所を " 設定モード " といい、この設定モードでは以下のメニューの設定を行うことができます。

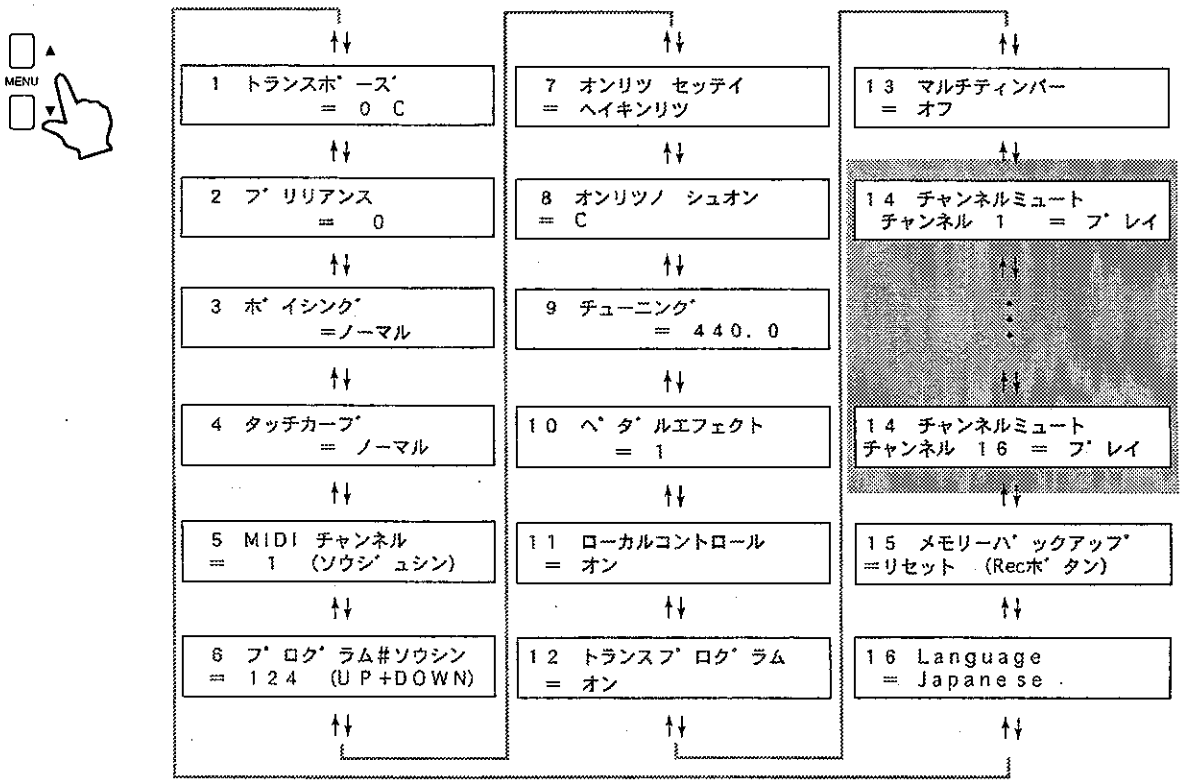
●設定モードのメニュー

1) トランスポーズ
2) ブリリアンス
3) ボイシング
4) タッチカーブ
5) MIDI送信・受信チャンネル
6) プログラム（音色）ナンバー送信
7) 音律の設定
8) 音律のキー
9) チューニング
10) ペダル・エフェクト
11) ローカルコントロール
12) プログラム（音色）ナンバー送信のオン / オフ
13) マルチ・ティンバー・モード
14) チャンネルミュート
（マルチ・ティンバー・モード，オン２の時のみ）
15) メモリーバックアップ
16) 表示言語

(1) 各メニューと設定方法。

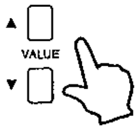
◇操作 1

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押す度にディスプレイに各メニューの画面が現われます。



◇*操作 2*

目的のメニューを表示したら、VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値を設定します。



◇*操作 3*

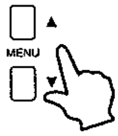
音色セレクトボタンを押して設定モードからでます。

1) トランスポーズ

調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾き方を変えずに簡単に移調できます。

◇*操作 1*

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しディスプレイにトランスポーズの画面を表示させます。

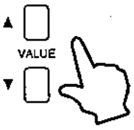



```
1  ﾄﾗﾝｽﾎﾟｰｽﾞ
        =  0  C
```

■ *電源 ON 時はハ長調（C）に設定されます。*

◇*操作 2*

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で移調値を［-6 ～ +5］の間で設定します。



VALUE ▲ ﾎﾞﾀﾝ を押す度に半音ずつ調が上がり、VALUE ▼ ﾎﾞﾀﾝ で半音づつ調が下がります。

-6,	-5,	-4,	-3,	-2,	-1,	**0,**	1,	2,	3,	4,	5
F#,	G,	G#,	A,	A#,	B,	**C,**	C#,	D,	D#,	E,	F

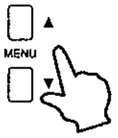
ディスプレイの2行目に値が表示されます。

2) ブリリアンス

音色の明るさを調節します。

◇操作 1

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しディスプレイにブリリアンスの画面を表示させます。

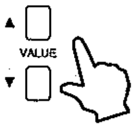



```
2 ﾌﾞﾘﾘｱﾝｽ
      ＝ 0
```

■ 電源 ON 時は 0 に設定されます。

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値を [-10～+10] の間で設定します。



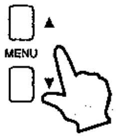
値が大きくなるほど音色に明るさが加わります。
ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。

3) ボイシング

音色のニュアンスを 4 種類の中より選べます。

◇操作 1

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しディスプレイにボイシングの画面を表示させます。

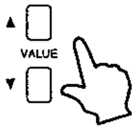



```
3 ﾎﾞｲｼﾝｸﾞ
      ＝ﾉｰﾏﾙ
```

■ 電源 ON 時は " ノーマル " に設定されます。

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値を [ノーマル / メロー / ダイナミック / ブライト] の中から設定します。

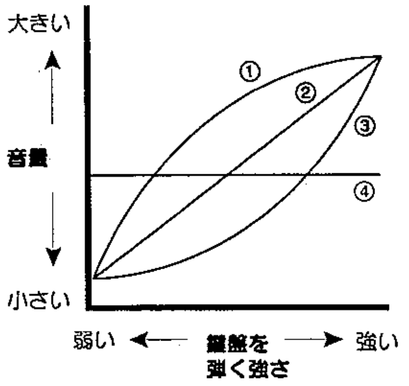


ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。

- ●ノーマル　：通常の設定です。
- ●メロー　：やわらかめのハンマーをシュミレートした全体にソフトな音色になります。
- ●ダイナミック：ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
- ●ブライト　：硬めのハンマーをシュミレートしたブライトな音色になります。

4) タッチカーブ

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。
この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。
本機では、4種類のタッチカーブを選ぶことができます。



① LIGHT（ライト）：弱いタッチで弾いても大きな音がでます。小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。

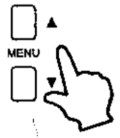
② NORMAL（ノーマル）：アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。

③ HEAVY（ヘビ～）：強いタッチで弾くと大きな音が出ます。指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。

④ OFF（オフ）：タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。

◇操作1

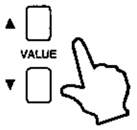
MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しディスプレイにタッチカーブの画面を表示させます。




```
4　タッチカーブ
　　　　＝　ノーマル
```

◇操作2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ でタッチカーブを［ノーマル／ライト／ヘビー／オフ］より選択します。



ディスプレイの2行目に値が表示されます。

電源ON時はノーマルに設定されます。

● MIDIについて

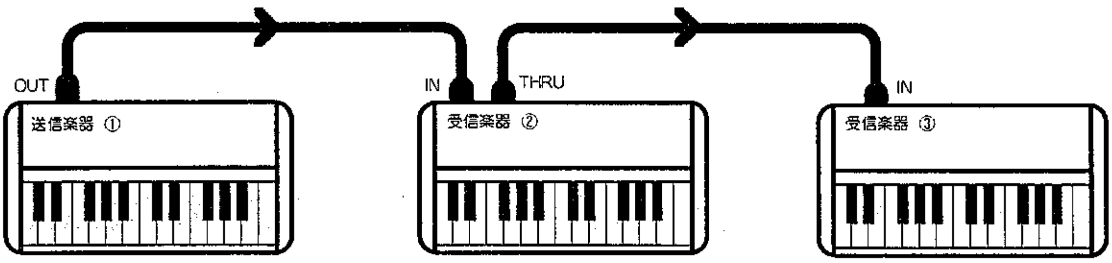
MIDI について簡単に説明します。
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDI端子には、IN, OUT, THRU の3つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

IN　：鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT　：鍵盤情報や音色情報を送信します。
THRU　：受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの２種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

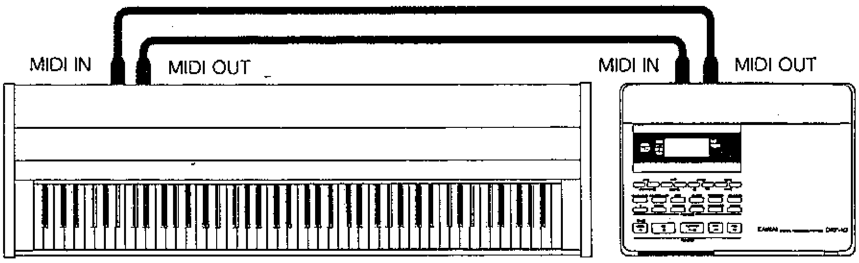
例えば３台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器① は、送信チャンネルと共に鍵盤情報等を受信楽器 ②，③ に送ります。
受信楽器 ②，③ には、この情報が送られて来ます。基本的には 受信楽器 ②，③ の受信チャンネルと送信楽器① の送信チャンネルが一致していれば、送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。
チャンネル番号は、送信，受信とも１ ～ １６までの番号を使用することが出来ます。

■ MIDIの使用例

●シーケンサーを使っての録音／再生



図の様にカワイのシーケンサーDRP-10に接続すれば、電子ピアノの演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができ、電子ピアノの練習に役立てることができます。また、電子ピアノの設定をマルチティンバーオン（P.36参照）にして録音／再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォーンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。
また、DRP-10の場合音源も内蔵してますので、その内蔵音色を使ってピアノ演奏を楽しむこともできます。

■本機MIDI機能

本機のMIDI機能は、以下の通りです。

◆ **鍵盤情報の送信・受信**
電子ピアノを弾いてシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

◆ **送信・受信チャンネルの設定**
送信受信チャンネルを1～16の範囲で設定することができます。

◆ **プログラム（音色）ナンバーの送信**
電子ピアノとMIDIで接続したシンセサイザー等の音色（プログラムされた音色）を電子ピアノ側の操作で変えたり、その逆が可能です。

◆ **ペダル情報の送信・受信**
ダンパーペダル、ソフトペダルのオン／オフ情報の送信・受信ができます。また、ソステヌートペダルの場合は、オン／オフの送信ができます。

◆ **ボリューム情報の受信**
シンセサイザー等を弾いて、電子ピアノの音を出しているとき、シンセサイザーで電子ピアノの音量をコントロールすることができます。

◆ **マルチティンバーの設定**
電子ピアノが受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことが出来ます。

◆ **エクスクルーシブデータの送信・受信**
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

◆ **レコーダーの再生情報の送信**
レコーダーに録音した演奏を、MIDIで接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

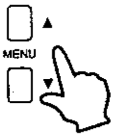
本機のMIDI機能についての詳細は、"MIDIインプリメンテーションチャート"（巻末）をご覧ください。

5) MIDI送信・受信チャンネル

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。
チャンネルは、送信チャンネルと受信チャンネルの 2 種類がありますが、本機では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

◇操作 1

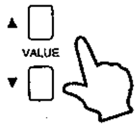
MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しディスプレイにMIDIチャンネルの画面を表示します。




```
5  MIDI  チャンネル
=     1  (ソウジュシン)
```

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値を [1～16] の間で設定します。



ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。

■本機は電源オン時には、1～16 のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで 1ch に設定したい場合は、一度チャンネルを 2 に設定してから 1 に戻してください。

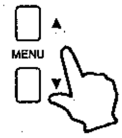
■マルチティンバーモードが、ON1 または ON2 (P.36) のときは、スプリット演奏時に低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル +1 チャンネルで送信します。
例えばここでチャンネルを 3 に設定してマルチティンバーを ON2 にしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は、4 チャンネルで送信されます。

6) プログラム(音色)No. 送信

本機では、1～128までのプログラムナンバーを送信することができます。

◇操作1

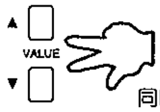
MENU ﾎﾞﾀﾝを押しディスプレイにプログラムNo. 送信の画面を表示します。




```
6  ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ#ｿｳｼﾝ
=  001    (UP+DOWN)
```

◇操作2

2つVALUE ﾎﾞﾀﾝ を同時に押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。



7) 音律の設定

ピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律を全部で6種類本体にセットしています。

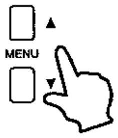
本機にセットされている音律は以下の通りです。

■各音律の特長

◆ 平均律 (Equal)	ピアノの調律法として、最もポピュラーなもので、どのように移調しても和音の響きが変らないという特長があります。
◆ 純正律 (Pure)	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
◆ ピタゴラス音律 (Pythagorean)	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特長です。
◆ 中全音律 (Meantone)	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特長の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
◆ ヴェルクマイスター第 III 法 (Werkmeister) キルンベルガー第 III 法 (Kirnberger)	調合の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調合が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した " 調性の性格 " を反映することのできる調律法です。

◇操作 1

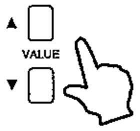
MENU ボタン を押しディスプレイに音律の画面を表示させます。




```
7  オンリツ  セッテイ
=  ヘイキンリツ
```

◇操作 2

VALUE ボタン で音律を設定します。



ディスプレイの2行目に音律が表示されます。

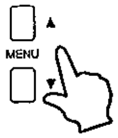
① 平均律（電源ON時のピアノ調律曲線に沿った平均律）
② 純正律
③ ピタゴラス音律
④ 中全音律
⑤ ヴェルクマイスター第III法
⑥ キルンベルガー第III法
⑦ 平均律（調律曲線を使わない平坦な平均律）

8) 音律のキー

ここでは、音律に対する調（キー）を設定します。

◇*操作 1*

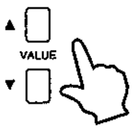
MENU ボタン を押し調の画面を表示させます。




```
8  オンリツノ  シュオン
=  C
```

◇*操作 2*

VALUE ボタン で調を［C～B］の間で設定します。



ディスプレイの 2 行目に調が表示されます。
電源をオンにして初めて音律設定を行ったとき、調は各音律の C 調になります。

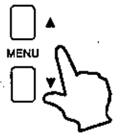
平均律を選択した場合は、調の設定をしても変化はありません。

9) チューニング

チューニング調整は、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。

◇*操作 1*

MENU ボタン を押しチューニングの画面を表示させます。

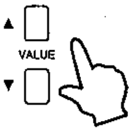



```
9  チューニング
        =  440.0
```

電源 ON 時は 440.0Hz に設定されます。

◇*操作 2*

VALUE ボタン でピッチを［427.0～453.0（Hz)］の間で設定します。



VALUE ボタンを押す度に 0.5 の単位で値を設定できます。
ディスプレイの 2 行目に値が表示されます。

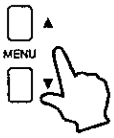
■*この状態で鍵盤を弾くと、"設定モード"にはいる前に選ばれていた音色が鳴ります。*
チューニング調整は、この音色を使って行います。音色を変えたい場合は一度"設定モード"から出て音色を選びなおして、再び設定モードに入って下さい。

10）ペダル・エフェクト

本機のダンパーペダル（P.10）を踏んだとき、音にピアノ全体の共鳴音が加わります。
この共鳴音の音量を設定します。

◇操作 1

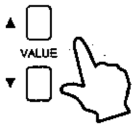
MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しペダルエフェクトの画面を表示します。




```
10 ペダルエフェクト
      = 1
```

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値［0/1/2］を設定します。



0 の場合、共鳴音はありません。
" 1 " で弱く、" 2 " で強く響きます。

11）ローカル・コントロール

このモードは、本体の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン / オフモードと呼びます。
ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。
一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を MIDI OUT します。
このときは、MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。

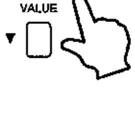
◇操作 1

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しローカルコントロールの画面を表示します。

```
11 ローカルコントロール
 = オン
```

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値［オン / オフ］を設定します。



電源オン時、ローカルコントロールは、オンに設定されています。

12) プログラム(音色)ナンバー送信のオン/オフ

(1) 音色セレクト・ボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信

本機では、通常の演奏中に10個の音色セレクト ﾎﾞﾀﾝ を切り替えることにより、右表のような1～10までのプログラムナンバーを送信できるようになっています。(マルチティンバーモードを2に設定したときは、右表の様なプログラムナンバーを送信します。)

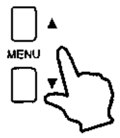
また音色セレクト・ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

この音色セレクトボタンによるプログラムナンバーの送信やパネル操作の送信は、次の方法により送信するか、しないか(オン / オフ)を設定することができます。

音色セレクトボタン	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾅﾝﾊﾞｰ	ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰﾓｰﾄﾞ2の時
PIANO1	1	1
PIANO2	2	2
PIANO3	3	3
E.PIANO	4	5
JAZZ ORGAN	5	17
CHURCH ORGAN	6	20
HARPSICHORD	7	7
VIBRAPHONE	8	12
STRINGS	9	49
CHOIR	10	53

◇操作1

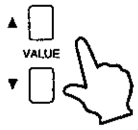
MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しプログラム送信の画面を表示します。




```
12 トランスプ゛ログ゛ラム
 = オン
```

◇操作2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値を設定します。



オン / オフ の設定をします。

■電源オン時は、音色セレクト ﾎﾞﾀﾝ によるプログラムナンバーの送信は、自動的にオンにセットされます。

■デュアル/スプリットモード時には、デュアル/スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。

13）マルチ・ティンバー・モード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送信受信しますが、マルチ・ティンバー・モードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。
この機能により、外部にDRP-10などのシーケンサーを使って、本機1台で複数の音色（マルチ・ティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

本機には、2種類のマルチ・ティンバー・モードを装備しています。

●マルチ・ティンバー・モード 1

マルチ・ティンバー・モード 1をオンに設定（オン1）すれば、MIDI1～13チャンネルを受信した場合、［A表］の音色が鳴ります。MIDI1～13チャンネルには、パネル上の各音色が割り当てられます。

●マルチ・ティンバー・モード 2

マルチ・ティンバー・モード 2をオンに設定（オン2）すれば、各チャンネル毎にプログラムチェンジ情報を受信することによって下記の［B表］に対応した音色変更をすることができます。
また、モード2では、チャンネルミュートを設定することができます。（P.38参照）

［A表］ MIDI1～8チャンネルを受信した場合、下記の［A表］の音色が鳴ります。

音色セレクトボタン	Ch.
PIANO1	1
PIANO2	2
PIANO3	3
E.PIANO	4
JAZZ ORGAN	5
CHURCH ORGAN	6
HARPSICHORD	7
VIBRAPHONE	8
STRINGS	9
CHOIR	10
BASS&RIDE	11
WOOD BASS	12
ELECTRIC BASS	13

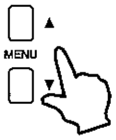
［B表］

音色セレクトボタン	プログラム・No.
PIANO1	1
PIANO1	8/1(16)*
PIANO1	4
PIANO2	2
PIANO3	3
E.PIANO	5
E.PIANO	6
JAZZ ORGAN	17
CHURCH ORGAN	20
HARPSICHORD	7
VIBRAPHONE	12
STRINGS	49
CHOIR	53
BASS&RIDE	36
WOOD BASS	33
ELECTRIC BASS	34

* 1（16）とは、バンク（MSB）16,プログラムナンバー1という意味です。
上記以外のプログラムNo.を受信した場合は、発音しません。

◇操作 1

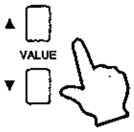
MENUボタンを押しマルチティンバーの画面を表示します。




```
13　マルチティンバー
 ＝　オン 1
```

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で値［オフ / オン 1/ オン 2］を設定します。



マルチ・ティンバー・モード がオフのときに、MIDI 情報を受信すると、そのとき選ばれていた音色セレクト ﾎﾞﾀﾝの音色が鳴ります。

マルチ・ティンバー・モード 1 がオンのときは、どの音色セレクト ボタン が選ばれていても受信した MIDI チャンネルに対応して前ページの［ A 表 ］の音色が無条件に鳴ります。

マルチ・ティンバー・モード 2 がオンに設定されると、受信したプログラム・チェンジ・ナンバーに従って音色が発音します。
また、受信チャンネルごとに発音のオン / オフを設定することができます。（P.38 参照）

■電源オン時、マルチ・ティンバー・モードはオフに設定されます。

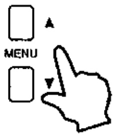
■マルチ・ティンバー・モード 1 または 2 がオンのとき、スプリットの状態になっていた場合でも、各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで発音します。
送信時には、高音側が上記で設定されている MIDI チャンネルに低音側は、そのチャンネル +1 の MIDI チャンネルに設定されます。

14) チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオン2のときのみ、この画面が現われます。
ここでは、各チャンネルの発音のオン / オフが設定できます。

◇操作 1

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しチャンネルミュートの画面を表示します。



↑↓

```
14 チャンネルミュート
 チャンネル 1 = プレイ
```

↑↓

```
14 チャンネルミュート
 チャンネル 2 = プレイ
```

↑↓

⋮

↑↓

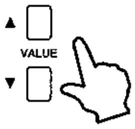
```
14 チャンネルミュート
 チャンネル 16 = プレイ
```

↑↓

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押す度にチャンネル No. が表示されます。

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で [プレイ / ミュート] を設定します。




```
14 チャンネルミュート
 チャンネル 1 = プレイ
```

↑↓

```
14 チャンネルミュート
 チャンネル 1 = ミュート
```

■電源を入れた時は、1chがオンで、2～16chがオフに設定されます。

15）メモリー・バックアップ

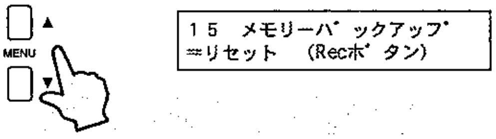
ここでは、自分の好みの設定を記憶（バックアップ）させ、電源を入れたとき、その設定で立ち上げることができます。

バックアップする内容は以下の設定です。

●バックアップ実行時の各音色ごとのエフェクトセッティング
●設定モードで設定した内容
●メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム

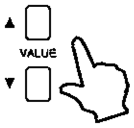
◇操作 1

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押しメモリー・バックアップの画面を表示します。



◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で［ユーザー］を選択します。



◇操作 3

REC ﾎﾞﾀﾝ を押し実行します。

ディスプレイに、『バックアップコンプリート』と表示され、完了します。

電源を入れたとき常に工場出荷状態のセッティングに戻したいときは、操作2で『リセット』を選択し、RECﾎﾞﾀﾝを押します。

16) 表示言語

ディスプレイに表示される言語を、日本語と英語の２言語より選択できます。

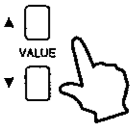
◇操作 1

MENU ﾎﾞﾀﾝ を押し表示言語の画面を表示します。

```
1 6  Language
 =  Japane se
```

◇操作 2

VALUE ﾎﾞﾀﾝ で［Japanese/English］を設定します。



主な仕様

■ 鍵　盤	88鍵　/　AWA　Grand 鍵盤スーパー
■ 発音数	64（音色により異なる）
■ 音　色 （10+3）	ピアノ1～3、エレクトリックピアノ、ジャズオルガン、チャーチオルガン、 ハープシコード、ビブラフォーン、ストリングス、クワイヤー ベース&ライド、ウッドベース、エレクトリックベース（スプリットモード時）
■ 効　果	リバーブ（ルーム、ステージ、ホール、3Dルーム、3Dホール）、ディレイ1,2,3、コーラス、 トレモロ、ロータリー
■ 音　律	平均律（2）、純正律、ピタゴラス音律、中全音律、ヴェルクマイスター第III法 、キルンベルガー第III法
■ その他の 機能	ボリューム、ブリリアンス、トランスポーズ、チューン、デュアル、スプリット デュアル/スプリットバランス、スプリットポイント変更、テンポ、デモ（43曲） タッチカーブ選択（ライト、ノーマル、ヘビー、オフ）、ボイシング
■ レコーダー	2パート（トラック）×5ソング、総記録容量　約5,000音
■ メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/8 、7/8、9/8、12/8拍子
■ ペダル	ダンパー、ソフト、ソステヌート
■ 外部端子	ヘッドホン（2）、ペダル、MIDI（IN、OUT、THRU） LINE IN（L、R）<Pin>、LINE OUT（L/MONO、R）<Phone>
■ 出　力	40W×2
■ スピーカ	13cm×2（スピーカーボックス付）、2.5cm×2（ドームツイーター×2）
■ キーカバー	スライド式
■ 定格電圧	AC100V、50/60Hz
■ 消費電力	100W
■ 仕上げ	ブックソロモン
■ 寸　法	［W×D×H］142×51×91（cm）　スタンド含む
■ 重　量	68Kg
■ 付属品	電源コード / 取扱説明書（本書） / 保証書

KAWAI [Model PW950] MIDI IMPLEMENTATION CHART

Date:SEP'97
Version:1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 ~ 16	1 1 ~ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *********	モード1 モード1.3** ×	** 電源ON時オムニ・オン。MIDIチャンネル設定操作によりオムニ・オフ。
ノート ナンバー	 音域	21 - 108* *********	0 - 127 15 - 113	
ベロシティ	ノート．オン ノート．オフ	○ 9nH v=1-127 × 9nH v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ．ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	7 64 66 67	× ○（右ペダル） ○（中ペダル） ○（左ペダル）	○ ○ × ○	ボリューム ダンパー ソステヌート ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○（0 - 127） *********	○（0 - 127）***	
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON／OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○ ○ ×	
備考		* 15-113 トランスポーズによって変化する。 *** 8-127=0 （マルチティンバーOFF/1時） 15-127=0 （マルチティンバー2時）		

モード1：オムニオン、ポリ　モード2：オムニオン、モノ　○: 有り
モード3：オムニオフ、ポリ　モード4：オムニオフ、モノ　×: 無し

MIDI Exclusive Format

<TYPE1>	F0	40	0n	30	04	02	D1	D2	F7

D1	D2		Function
00	00	:	Multi off
01	00	:	Multi on1
02	00	:	Multi on2

<TYPE2>	F0	40	0n	10	04	02	D1	D2	F7

D1	D2		Function
0D	00~06	:	Effect off(0),mode1~6 on
0E	00~05	:	Reverb off(0),mode1~5 on
14	00~7F	:	Dual balance
16	1F~40~60	:	Tune(40=440Hz)
17	00/7F	:	Prog send off/on
18	00~03	:	Touch curve (0:light 1:normal 2:heavy 3:off)

<TYPE3>	F0	40	0n	10	04	02	D1	D2	F7

D1	D2	D3				
20	00~0C	00~0C	:	Dual on	D2:Right tone	D3:Left tone
21	00~0C	00~0C	:	Split on	D2:Upper tone	D3:Lower tone
25	00~06	00~0B	:		D2:Temperament	D3:Key
26	00/7F	00~0F	:	Multi2 ch	D2:off/on	D3:ch

*)0n : 00~0F(MIDI ch)

9710
Printed in Japan

KAWAI
株式会社 河合楽器製作所
電子楽器事業本部
〒430-8665 浜松市寺島町200番地
TEL 053-457-1277
FAX 053-457-1279